

製品名: NF-YC ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14664**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	NFYC
別名	NFYC; Nuclear transcription factor Y subunit gamma; CAAT box DNA-binding protein subunit C; Nuclear transcription factor Y subunit C; NF-YC; Transactivator HSM-1/2
遺伝子 ID	4802.0
SwissProt ID	Q13952
免疫原	抗血清はヒト NFYC 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

背景

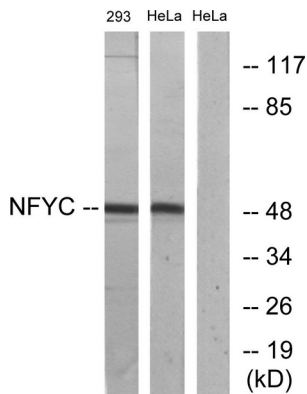
この遺伝子は、様々な遺伝子のプロモーター領域に存在する CCAAT モチーフに高い特異性で結合する、高度に保存された転写因子を

形成する三量体複合体のサブユニットの1つをコードしています。コードされているタンパク質であるサブユニットCは、サブユニットBと強固な二量体を形成し、これがサブユニットAとの結合の前提条件となります。結果として生じた三量体は、高い特異性および親和性でDNAに結合します。サブユニットBとCはそれぞれヒストン様モチーフを含んでいます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。 [RefSeq 提供、2008年12月],機能: プロモーター中のCCAATモチーフを認識して結合することにより、様々な遺伝子 (例えば、1型コラーゲン、アルブミン、βアクチン遺伝子) の転写を刺激する。類似性: NFYC/HAP5サブユニットファミリーに属する。サブユニット: NF-YA、NF-YB、NF-YCの3つの構成要素からなるヘテロ三量体転写因子。NF-YAの会合およびDNA結合には、NF-YBとNF-YCが相互作用し、二量体を形成する必要がある。

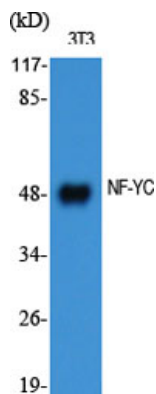
研究分野

抗原の処理と提示;

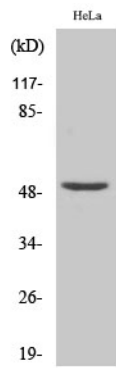
画像データ



NFYC抗体を用いたHeLa細胞および293細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000に希釈したNF-YCポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



1: 1000 に希釈した NF-YC ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット分析